

令和7年度学校経営計画

1 目指す学校像

(1) 教育目標 『 たくましく 心豊かに 』

～言語力を向上させ、自分のよさや可能性を最大限に伸ばし、「共生・共育」社会を実現する担い手として自ら考え、判断し、実践できる人を育てる～

(2) 目指す子ども像

- 自ら人とかかわり、思いやりのある子
- 自ら考え、判断し、表現できる子
- 自ら遊び、自ら学習する子
- 自ら心と体を鍛える子
- 人や状況に、しなやかに対応できる子

(3) 目標具現化の柱(中期目標)

【 「いきいき」とした生活、「わくわく」する学び、「しなやか」な心 を育む学校 】

<いきいき> 互いの良さを認め合い、安心した生活を送ることができる学校

<わくわく> 伝え合い、豊かに表現し、学び合いのある学校

<しなやか> つながりを深め合い、自分らしさを発揮できる学校

2 本年度の取組(重点目標はゴシック体)

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
いきいき	互いを認め合い、自他を大切にすることを育む指導の充実	・自分とは異なる意見も認め、互いの考えを交換し合う教育活動の充実	・幼児児童生徒は、相手の意見を受け止め、自分の考えをもち、伝え合っている	生徒指導課 各学部
		・互いの考え方の違いを認め合い、学び合える教職員集団づくり	・教職員は、異なる考えも受け止め、互いの意見を交換し、学び合っている。	全教職員
	安全・安心な生活を送るための環境、体制づくり	・自分の身は自分で守るための、防災教育、安全教育等の体験的活動実施	・幼児児童生徒は、自分の命を守る方法が分かり、安全に生活ができている。 ・教職員は、命を守るための方法を理解し、緊急時に備えることができている。	保健防災課 生徒指導課
		・生活の自立に向け、舎生が主体的に活動する寄宿舎づくり	・寄宿舎生は、他校の舎生とも意見を交流させながら話し合いを進め、自分の役割を果たすことができている。	寄宿舎
		・発達段階に応じた定期的な保健指導の充実とニーズに応じた支援の充実	・幼児児童生徒は、自分に必要な保健目標が分かり、その達成に向けて生活を送ることができる。	保健防災課
		・年間計画に基づいた食育の推進と、食に関わる資質・能力の育成	・幼児児童生徒は、静岡県や世界の食文化を知ったり、食事のマナーを身に付ける必要性を理解したりすることができる。	保健防災課

		・学校経営予算の適正な予算配分と計画的な執行	・学校経営予算の計画的な執行により、各分掌等への配当予算の執行率が 12 月末時点で 80%以上となっている。	事務部
わくわく	一人一人の言語力の獲得と、伝え合い、学び合える授業づくり	・ 障害の特性を踏まえた支援の充実と「分かる」授業の実践	・教職員は、聴覚障害教育の基礎基本をおさえた支援が行え、全ての幼児児童生徒が「分かる」授業ができています。	研修課 自立活動課 教務情報課
		・ ICT を効果的に活用した、基礎学力の定着と主体的に学び合える授業づくり	・教職員は、幼児児童生徒が自ら考え、思考を深めるための ICT 機器の効果的な活用ができています。	研修課
		・OJT 研修や公開授業による、互いに学び合う校内研修の充実	・教職員は、OJT による研修や授業を見合うことにより、互いに学び合うことができています。	研修課 各学部
		・外部講師・各種専門家招聘による学習会の実施	・教職員は、学習会をととして聴覚障害教育を理解し、指導技術を向上することができています。	自立活動課 研修課
しなやか	ニーズにこたえるセンター的機能の充実	・ 乳幼児教室、通級指導教室、相談室の、連携・信頼を基にした支援の充実と積極的な情報発信、ニーズにこたえる支援の実施	・関係機関からの情報と実態把握を基に個々のニーズに応じた支援ができています。 ・研修会や訪問支援をととして聴覚障害についての理解啓発ができています。	支援部
	自分らしく生きるための関係機関との連携強化	・デジタルプラットフォームのスムーズな運用開始、個別の教育支援計画や指導計画を活用した指導の充実	・デジタルプラットフォームの運用開始が、計画どおりにできています。 ・個別の教育支援計画や指導計画を活用した面談の実施と、共有すべき支援について確認し合い指導にいかすことができています。	教務情報課
		・幼・小・中とつながりのあるキャリア教育の実施	・系統性のあるキャリア教育プログラムの作成ができています。	生徒指導課
		・交流籍交流、学校間交流、居住地域、学校所在地域のモノ・コト・ヒトを生かした交流の充実	・幼児児童生徒の生活経験が広がり、自分らしく生活を送ることができています。	各学部
		・家庭や医療、行政、福祉、支援機関等との連携の充実	・家庭や関係機関と連携し、自立や社会参加に向けた話し合いができています。	学校運営協議会 各学部
		・ デフリンピック出場選手との交流、デフリンピック競技や国際手話等、デフリンピックに関連した教育活動の実施	・幼児児童生徒は、デフリンピックに向けた活動に主体的に活動することができています。	各学部